

経営比較分析表（令和4年度決算）

福岡県 久留米市

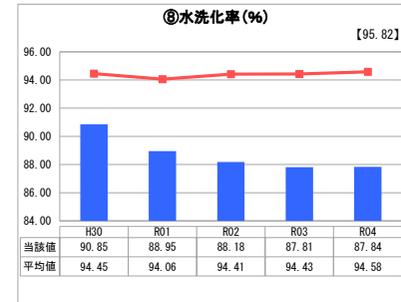
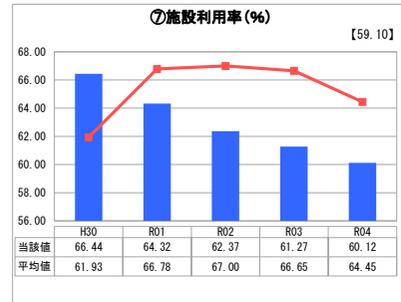
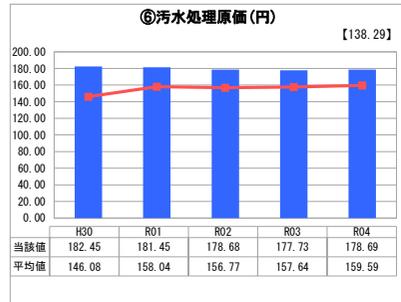
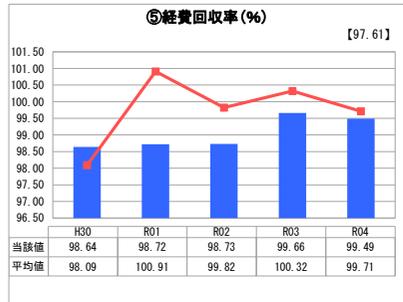
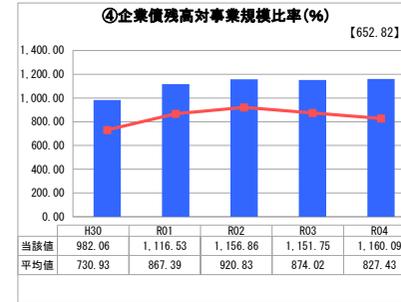
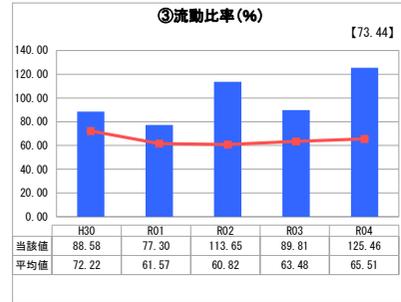
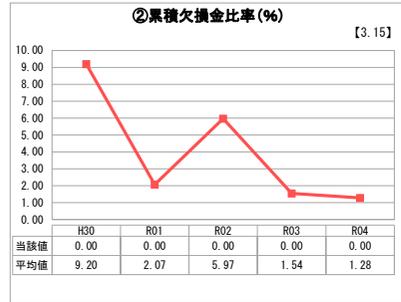
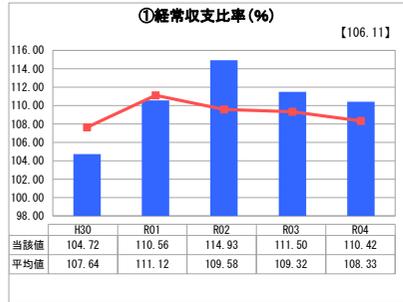
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ad	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	44.89	87.60	88.68	3,091

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
302,383	229.96	1,314.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
264,225	55.18	4,788.42

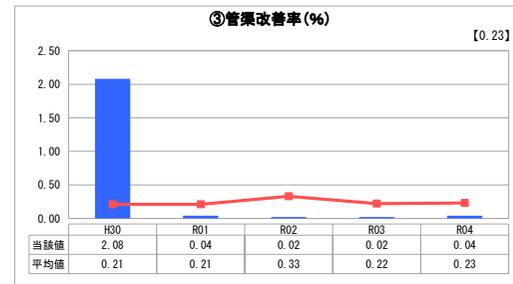
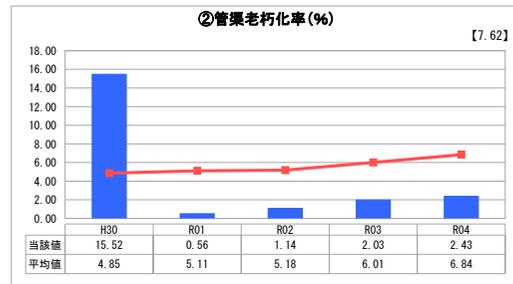
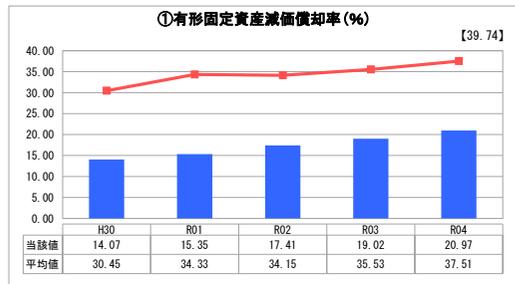
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

下水道整備は先行投資が多額になる事業であり、整備を行っている間は厳しい経営状況が続く。
本市の公共下水道事業においても、未普及地域の整備を行っているところであり、当分の間は厳しい経営環境が続くと予想される。

④企業債残高対事業規模比率
未普及地域の整備のため、その投資にかかる財源を国庫補助金のほか企業債の借入れにより賄っている。汚水処理人口普及率100%を目指し積極的に投資しているため、類似団体平均と比較高い数値となっている。

⑤経費回収率、⑥汚水処理原価、⑧水洗化率
平成30年度以降は⑤経費回収率が100%を下回っており、⑥汚水処理原価も類似団体平均と比較し高水準となっている。
また、⑧水洗化率については、未普及地域の整備完了により処理区域内人口が増加しているため、当該数値は類似団体平均を下回り減少傾向となっている。整備済み地域における接続率の向上の取組みを実施し、適正な使用料収入の確保に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

②管渠老朽化率、③管渠改善率
本市の公共下水道事業は昭和47年の供用開始から50年が経過し、今後は法定耐用年数を迎える管路が増加していくと見込まれる。
また、③管渠改善率については幹線管路の更生工事を実施しているものの、管路延長が長距離に及ぶため低水準で推移していくものと見込まれる。

全体総括

本市の公共下水道事業は、現在も未普及地域の整備を実施していることから、健全性及び効率性を表す指標は、類似団体平均を下回っているものもある。
今後は、人口減少による使用料収入の減少が見込まれる一方で、施設の老朽化が進むことにより更新需要が増加していくことから、経営環境はより厳しいものとなっていく。
このような中で、下水道事業の未普及地域の整備に関する計画である「生活排水処理基本構想」の見直しを行っているところであり、更なる経営安定化の推進に取り組んでいく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。